

「期待！」

会長 星野隆之

例年の酷暑も無く秋に突入しそうな気配です。予想されていたとはいえ、「政権交代」という大きな出来事が日本列島を揺るがしました。日本はこれからどうなるのか、期待と不安のスタートがきられたわけです。

現役の一年間の総結集に当たる「全国高校サッカー選手権大会 埼玉県大会」が既に始まっています。我が浦高はインターハイ予選ベスト4の地位を得ているため、二次予選からの参戦になります。今年度は諸般の事情から32チームによるトーナメントで出場校が決定されます。この夏、現役諸君は例年にも増して厳しいトレーニングを積んできました。一発勝負の女神が「半世紀ぶり」にほほ笑んでくれることを期待したいと思います。皆さんの熱き応援をお願いします。

「浦和四校サッカー一部OB交流戦」が10月12日(祝)に下記の要領で行われます。今回は浦高が当番校、FCLレイワの若手が審判員として参加してくれます。35歳以上の皆さん、大集合です。ホスト校として恥ずかしいゲーム(選手数)は意地でも出来ません。昨年、35~49歳は初優勝！ 多数の皆さんの参加を期待します。

卒業後、犬飼日本サッカー協会々長をはじめ様々な立場でサッカーに携わっている方々がたくさんいらっしゃいます。その方々に手記を掲載していただくことにいたしました。現役の諸君に対しても大いなる刺激となり、日本のサッカーを支えてくれる浦高生が一人でも多く輩出されればと期待しての企画です。第1回は「唯一無二のJリーガー(だった)」の渡辺隆正氏(高48回卒)です。

最後にもう一つ期待！ 会費納入状況別紙の通りです。うっかりお忘れの方、よろしくお願いたします。

なお、前回の会費納入状況報告で、田中幸衛様(中43回卒)を高34回卒と誤って記載いたしました。深くお詫びし、訂正させていただきます。

「第9回 浦和四校サッカー一部OB交流戦」

- 1 期日 平成21年 10月12日(祝)
- 2 場所 県立浦和高校グラウンド
- 3 集合 8時00分(ホスト校です。早めにご集合ください)
- 4 開会式 8時20分
- 5 第1試合 35歳~49歳(浦高VS浦和西高の予定)
以降50歳以上 20分ゲーム
35歳以上 25分ゲーム
60歳以上合同チーム VS 浦和一女
エキジビジョンゲーム 有り

- 6 表彰式・懇親会
13時30分~ 麗和会館 1F 食堂
- ※ 懇親会のみ参加 大歓迎です！



住所変更・会員消息・連絡等は
下記アドレスへお願いします。
連絡先アドレス 星野隆之
takayuki40402002@yahoo.co.jp

96年卒 渡辺隆正

(浦和レッドダイヤモンズ アカデミーセンター ジュニアユースU-13担当コーチ)

1996年に浦和高校を卒業し、1年間の浪人生活の後1997年に筑波大学体育専門学群に入学。蹴球部に所属し3・4年次に関東大学リーグ2連覇、インカレは二度の準優勝を経験。大学卒業後2001年に浦和レッドダイヤモンズ入団。選手として2年間在籍。同期には、GKの山岸範宏選手、FWの田中達也選手がいます。

そして、現役を引退後2003年から4年間、普及を目的とした浦和レッドダイヤモンズハートフルクラブのコーチとして、主に小学生以下の子ども達を中心に指導。2007年から浦和レッドダイヤモンズジュニアユースレディース(女子中学生・高校生のチーム)のU-15担当コーチとして2年間指導。昨年、全日本女子ユース(U-15)選手権で優勝を経験。

現在、浦和レッドダイヤモンズジュニアユースの中学1年生のコーチとしてプロ選手を輩出できるように日々トレーニングを重ねています。ただ、この年代で気をつけていることは全てにおいてベース作りだということです。目先の結果に左右されずに、5年後10年後を見据えて指導しなければなりません。サッカーの基本技術の習得はもちろんですが、挨拶や自分の荷物の整理整頓、自分たちの使っている物や道具、施設、そして応援してくれている親に対する感謝の気持ち、食生活など基本的な生活習慣と日常生活でのルールやマナー、思いやりといった指導を大切にしています。また、我々のチームには色々な個性を持った子ども達があります。私は、その個性の良いところを見て伸ばしていきたいと考えています。ただ、サッカーはチームスポーツです。チームの中で生きる個性の育成をしていかなければいけないと思っています。実際に指導している中で、自分中心で周囲のことをあまり気にしない傾向があると感じました。そこで、試合中や日常生活の様々なこと、仲間に対して『気を配れること、気付くこと、感じること』を伝えています。目の前で起こっている変化に対して自分が何に気付くことができるのか、何を感じられるかを大事にしてほしいと伝えています。そして、『自分』のことに対しても気を配れて、気付くことができ、感じることでほしいとも伝えています。自分のプレーの特徴は何なのか、何が足りないのか。自分の精神的な状態がどうなのか、肉体的な状態がどうなのか。これらのことがサッカーに大切な状況判断にも繋がってくると私は考えているからです。

今後も子ども達を指導するにあたって、もっとたくさんのことを学び、人間としての幅を広げ、心に響く指導を目指します。そして、最後にいつも私の心の中にある言葉です。

『学ぶことをやめたら教えることをやめなければならない』

(1998年ワールドカップ優勝、2000年ヨーロッパ選手権優勝フランス代表チーム監督
ロジェ・ルメール)